生活支援体制整備事業

～ みんなで支え合う共生のまちづくり ～

木室たんぽぽの会　会　長：一ノ瀬　直子

～ 木室幼稚園跡地で様々な行事をしています ～

木室たんぽぽの会とは、木室校区の皆さん全員が主役の多世代交流の場です。ご近所づきあいが希薄になった今日、地域にどのような方が住んでいるのか、どこのお子さんなのか、興味を持って頂き、木室校区の皆さんにひと昔前のような交流のある地域を作ろうという会です。もしお困りの方がおられたら「ご近所さん同士で何かできることはないか、たんぽぽの綿毛のように、皆さんのところに飛んでいきましょう。」という熱い想いで、「木室たんぽぽの会」と命名されました。

子ども寺子屋・高齢者脳トレ

毎週土曜日10時から12時まで開催しています。10時から子ども達は勉強し、高齢者は健康チェック後脳トレをします。11時からはふれあい交流タイムで、一緒にゲームなどをして楽しい時間を過ごします。

第4週目は、食進・民生委員などの協力で食事を作り、みんなでいただきます。食材は、スーパーなどから食材提供を受けています。

今後も、様々な行事の中で地域の絆を深め、あったかい「木室家族」を作っていきます。

ドリームたぐち　代　表：酒見　精司

～ 住民アンケートを通して仕組みづくりに取り組んでいます ～

ドリームたぐちでは、2018年5月から多世代交流として「お楽しみ会」を5月・9月・1月の計3回開催しました。100名を超える田口住民の皆さんが集まってゲームをしたり、みんなでお食事をしたりして大変好評でした。

2018年11月には、木室地区と合同で福津市に視察研修に行きました。視察後、田口住民の皆さんの困りごとを把握するため、2019年2月に全世帯を対象にしたアンケート調査を行いました。アンケート結果を基に、今後ドリームたぐちでは何ができるのかを、また居場所作りについても協議体（話合いの場）で話合いを重ねてきました。

そして、居場所（いこいの場）については7月13日からスタートし、第2・第4土曜日の10時～11時30分までコミセンにて開催が決まりました。

今後も、地域サポーター（ボランティア）の養成などを目標にしながら、「困ったときはお互い様」の心で支え合う、あったかい田口地区を目指していきます。

協議体（話合いの様子）

第二回お楽しみ会の様子

みんなで支え合いの地域づくりを！

他の地区でも支え合いの仕組みづくりを協議しています。